

# 室蘭市「ゼロカーボンシティ」宣言

～2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指します～

地球温暖化による気候変動は、人々の生活や生態系に致命的な影響を与えかねない人類共通の深刻な問題であり、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」という特別報告書をもって、国際社会へ警告を発しており、温暖化抑制の取り組みは、喫緊の課題となっています。

天然の良港と豊かな自然に恵まれ、古くから港を中心に、我が国を代表する重工業都市として発展してきた本市は、昨今の持続性ある地球環境の保全が求められる世界的潮流の中で、再生可能エネルギーや水素を中心とした脱炭素化時代に貢献しようとする「港湾・産業都市」であります。

今後、さらなる脱炭素社会の構築に向けて本市は、港と産業を軸に、脱炭素を通じた発展を希求するとともに、市民生活においては、本市の恵み豊かな環境を、次の世代へ確実に引き継いでいくため、市民一人ひとりがゼロカーボンを意識し、目指す中で、気候変動に対する危機感を共有し、地球温暖化抑制への行動を積極的に進めていかなければなりません。

本市は、2022年に開港150年、市制施行100年という大きな節目を迎え、さらに輝かしい未来に向けて、新たな歩みを踏み出すため、こうした思いを形にし、市民や地域、事業者の皆さまと一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする、「ゼロカーボンシティ」を目指します。

令和3年10月25日

室蘭市長 **青山剛**